

## 第5回災害対策本部会議議事録

日時：平成23年3月13日（日）11：26～12：30

- 東京電力：復旧作業については、夜を徹して作業をしている。県南及び県央までは電気が通る見込。常磐変電所を拠点に県北地域に送電できるよう努力している。
- 原子力対策班長：1号機の格納容器は破損していない。福島第一発電所は県境から80km。県内のモニタリングポストは正常値。北茨城市役所で可搬型モニタリングポストを設置し、9時30分測定開始。県内の原子力施設は依然として問題ない。
- 生活衛生課長：59台給水車が出ている。市町村で何が不足しているか調整する。
- 危機管理室長：非常用電源用の燃料の確保が難しい。県内の病院から要望がある。緊急用自動車のガソリンも不足している状況。ガソリンスタンドが混雑している。県内の小売店では調達が難しい。関係機関に燃料の確保の要請文を送った。
- 総務部長：水道が回復し、受水槽は満水の状態。私学は1校を除き、休校。1校は今日確認する。
- 企画部長：茨城空港ビルについては、電気・水の供給がない。復旧しない場合は自家用発電を使うが、出入国手続きは手作業になる。館内の空調は使えない。トイレについては、仮設トイレを入れる。修繕には時間がかかる。  
鹿島サッカースタジアムについては、サッカーの試合が中止。鹿島セントラルホテルについては、コンビナート内に修繕業者が入るため、客受け入れを開始する。
- 保健福祉部長：北茨城市立病院の患者81名については、3名を除き搬送先確保。災害救助法の適用については、要請のあった39市町村に適用。要援護者については、32団体から回答があり26団体で把握しているとのこと。ヨウ素剤については、霞ヶ浦駐屯地に搬送済み。
- 商工労働部長：中小企業向けの貸付などについて、金融特別相談窓口を産業政策課に開設した。産業技術専門学院については筑西及び古河以外は休校の予定。
- 土木部長：県施設の被害状況は概ね把握が完了している。今後は災害査定と応急復旧を進める。今進行中の事業については、事故繰越か契約変更するしかない。応急危険度判定士の派遣について、本日より3日間実施する。被害の状況によっては延長を行う。出先事務所の公用車についてもガソリンが不足して現場まで行けないおそれがある。
- 企業局長：漏水した水道管の復旧に努力する。停電が復旧したので、復旧がスムーズになっている。修理が完了した箇所から順次通水する。応援要請があったところについては、病院を中心に支援していく。
- 農林水産部長：大津漁港の事務所で被害が出ている。林道、地山でも被害が出ている。被災地への食料の提供について、農業団体に依頼している。JAグループで調整している。量については、保健福祉部と生活環境部と調整して対応する。

- 警察本部長：被害の状況については引き続き調査を進めている。交通規制をしっかりとやって緊急輸送路を確保する。住民に安心感を与えるため、パトロールを可能な限り行う。避難所も回る。ガソリンが不足している。ガソリンスタンドでは公用車優先として欲しい。
- 自衛隊施設学校：給水支援13団体、給食支援1団体。材料は市が用意して隊員が調理した。毛布2500枚については本日0：25に完了している。東京から応援で60名増強した。
- 農林水産部長：千葉県で鳥インフルエンザが確認された。県境からは35km離れている。念のために県内でも立ち入り検査を行うよう伝えた。
- NTT：移動電源車、燃料を調整している。公衆電話の無料開放、災害時伝言ダイヤルの開設もしている。
- 東京電力：発電力が不足している。週末は電力需要が低い、明日以降、需要増加するおそれがある。現在、需要と供給が等しい状況にある。電力が追いつかない場合には、一時的に輪番停電する対応をとらざるを得ない。本店で検討中であり、事前に予告はする。そのような可能性があることを認識して欲しい。
- 知事：空港地域の電力は？
- 東京電力：設備の健全性の確認がされ次第であると考えます。
- 知事：今日見てきたが、特別委員会室など議会棟の被害がひどい。また、防災ヘリで大洗町役場に行ったが、津波で浸っている。町民のショックはあるが、高台に逃げることを強く宣伝し、すぐ対応することが大事である。六角堂の赤色が見えなかったから海に落ちたのだろう。黒こげになった完成自動車の山も見えた。北茨城の断崖もかなり削られているようだ。大洗港区で液状化が発生しており、復旧に時間がかかる。鹿島港でも液状化が見られたし、円筒形のタンクの上の部分が火事で無くなっている。鹿行大橋は真ん中で無くなっている。コンテナも打ち上げられている。ヘリ視察により新たな情報は無かったが、復旧が大事であると思う。高速道路に亀裂、陥没、落差があり、復旧には時間がかかると思う。ガソリンについては、津波のおそれがあるため災害船が活用できない。各分野でがんばっていただきたい。
- 副知事：関係課の一部の職員に業務が集中して大変なところもある。他の課に回すなど部対応にするようご配慮いただきたい。
- 知事：ヨードは？どれだけあってどれだけ送ったんだ？
- 原子力対策班：55万備蓄していて、27万個送っている。
- 知事：子ども用の粉末もどのくらいあるか確認すること。  
福島からの協力依頼はどうなっている？
- 原子力班：サーバイメーターやタイベックスーツなど防災資器材の要請が文部科学省経由で来ている。できるだけ送りたい。
- 知事：原研はどうした？

- 原子力班：機構については本省から話が行っている。
- 保健福祉部長：今後、埋火葬の支援も検討が必要。県内では1日30体の処理能力がある。依頼があれば協力を呼びかける。
- 警察本部長：死体確認について応援要請があるが、受け入れ態勢ができていないとのこと。
- 知事：他県の被害数は桁違いだ。県内で余裕があれば協力していく。
- 病院事業管理者：放射線検査センターは利用可能。入院が不要であれば受け入れる。